

<報道関係各位>

日経が、テレビ東京と経済番組を制作するも、うっかりバラエティー班に依頼しちゃった。  
まじめに楽しい経済 YouTube「日経テレ東大学」がスタート！



# 日経テレ東大学

株式会社テレビ東京コミュニケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：大島信彦、以下 TXCOM）と株式会社日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）は4月1日から、経済・ビジネスを楽しく学べる番組『日経テレ東大学』を YouTube で開始します。「本格的な経済・ビジネスを、もっと楽しく学ぶ」をテーマに、大学の授業になぞらえたコンテンツを配信します。世の中の不確実性が増す中、「ビジネス」「経済」の視点から世の中を分析する力は、すべての人にとって重要です。日経とテレビ東京グループの両者は、これまでも経済やビジネスの報道に力を入れてきました。ともすれば難解になりがちな情報を気軽に楽しめる内容に仕立て、さらに多くの人にお届けします。

本動画シリーズは TXCOM と日本経済新聞社デジタル事業が立ち上げた YouTube チャンネル『経済 Labo』(<https://www.youtube.com/c/keizailabo>)にて配信します。ぜひ、ご登録ください。

## ■経済がバラエティー番組に

日経は本プロジェクトの開始にあたり、動画制作をテレビ東京に依頼しました。

ところが、うっかりバラエティー班に話が行ってしまい、気が付いた時には話がイイ感じにまとまってしまいました。結果、「これはこれでイイのでは」となり、制作統括は『家、ついて行ってイイですか？』などを手掛けたテレビ東京の高橋弘樹プロデューサーに。同氏は早稲田大学の政治経済学部を5年かけてなんとか卒業。ジャーナリストを目指してテレビ東京に入社し、バラエティーひと筋16数年、数々の実績を積んできました。今回、日経テレ東大学の”教授”に就任。約20年ぶりに変色した経済学の教科書を引っ張り出して、授業の作成に臨みます。

## ■『日経テレ東大学』とは

日経と TXCOM が運営する YouTube チャンネル『経済 Labo』のメインコンテンツです。普段、ビジネスや経済ニュースを報じている両者が、大学の授業になぞらえた形で様々なことを経済・ビジネスの視点で解説します。「何のために学ぶのか」に素直に向き合い、ビジネスパーソン成長につながる内容を、楽しくお届けします。『日経テレ東大学』の略称は『日経テレ東大』です。断じて『日テレ大』ではありません。

『日経テレ東大』では「授業」として、以下のようなコンテンツを企画しています。

<報道関係各位>

授業紹介「①チャラすぎるマイクロ経済学」



サンシャイン池崎のギャラは、なぜ容易に上がらないのか？  
場末の町のキャバクラにフリーで入ると、なぜ帰り道に天を仰ぐことになるのか？

こうした問題はすでに、19世紀のスイス・ローザンヌ学派や、16世紀に英国王立取引所を設立し、国王の財政顧問を務めたトーマス・グレシャムらによって解決されています。それにも関わらず、なぜ、何度フリーで場末のキャバクラに入り、失敗を繰り返すものが後をたたないのか？それは、経済原論の学習を軽視しているからである――。当学ではそう考えます。

「マイクロ経済」と聞いて「難しい」「真っ向から学ぶには中々とっつきにくい」…という印象をお持ちの方は多いと思います。本授業では卑近で馴染み深い問題を題材にし、基本をしっかりと学ぶことができます。ビジネスパーソンにとっての必須科目です。

授業紹介「②ラーメン DE ビジネス名著」



『嫌われる勇気』『ファクトフルネス』『君たちはどう生きるか?』…名前は知っていて「いつか読まなきゃ〜!」と思っているビジネス書の名著たち。そんな名著のエッセンスを、カップラーメンを食べている数分の間だけで学べちゃう「神動画」!しかも、超わかりやすい!なぜなら、教えてくれる講師は、その本を編集した編集者さんだから!ヒットを連発するやり手編集者さんの「名授業」をお楽しみください!!

授業紹介「③YOUは何しに日本株へ?」



人口減少と少子高齢化が進み、企業や大学などの国際競争力が低下、「長期にわたって経済的に衰退するのではないかと悲観したくなる国・日本。

しかし!こんな日本で、わざわざ日本株に投資をしまくっている外国人投資家(YOU)たちがいます。

本授業は、そんな YOU 達に「あなたは、一体なぜ日本株へ?」と伺い、密着取材するドキュメンタリー企画です。日本企業への世界での注目度が相対的に低下している中、「人の行く裏に道あり花の山」とばかりに可能性を見出す YOU 達。取材を通し日本株 LOVE 魂をもった YOU の視点を紹介し、「この先の日本経済の見通し」や「人と違う視点を持つコツ」を探ります。

その他、魅力的な授業を続々と企画しています。

<報道関係各位>

番組プロデューサー・高橋弘樹(テレビ東京)より



ジャーナリストを目指しテレビ東京に入ったものの、いつの間にか初心を忘れ、バラエティー番組を16年つくり続け、取り返しがつかなくなってしまった高橋弘樹と申します。

「大学時代に、もっと学んでおけばよかった！」  
とは言いつつ、「つまらないと、やる気がでない....」  
そんなビジネスパーソンの思いに応えるべく、経済の基礎や実学を「楽しく学び直せる」....っぽい”授業”を揃えました。  
また、この大学の特徴として、教授は自ら授業を行いません。サンシャイン池崎さんや、誰か他の人にやってもらいます。よろしくお願ひいたします。

<プロフィール>

高橋弘樹 (日経テレ東大学 教授 / テレビ東京 制作局プロデューサー)

早稲田大学政治経済学部を卒業後ジャーナリストを志し2005年テレビ東京入社。即座にTVチャンピオン、演歌番組などに配属。「日本全国のゆるキャラに相撲を取らせる」「控え室まで千昌夫を呼びに行く」などの中核業務に従事する。その後、『家、ついて行ってイイですか?』、『吉木りさに怒られたい』、『蛭子さん殺人事件』(企画・演出・プロデューサー)、『空から日本を見てみよう』(ディレクター)など、ジャーナリズム感のかけらもない、でもたまにはあるような番組を手がけ、現在に至る。

このほか『ジョージ・ポットマンの平成史』、『教科書で一番笑わせられる人決定戦』、『嫌いな人を好きになる方法』、『「人生を諦める技術」講座』など教育系コンテンツも、多数企画・制作。

講師陣(企業様)募集中!

日経テレ東大と一緒に盛り上げてくれる企業様を募集しています。

番組 HP より気軽にご連絡ください。 【URL】 <https://www.keizai-labo.com/>

配信チャンネル概要

経済Labo

YouTube チャンネル『経済 Labo』

テレビ東京コミュニケーションズと日本経済新聞社デジタル事業が「本格的な経済を、もっとたのしく学ぶ」をコンセプトに立ち上げた YouTube チャンネルです。20-40代のビジネスパーソンの皆さんに向け、様々な経済・ビジネスコンテンツを提供します。メイン番組の『日経テレ東大学』のほか、ビジネス書解説の『おいしい読書』、日経に出たニュースやビジネストピックを、キモかわいいキャラクターが紹介するニュース解説「ゆっくり経済解説」など。

【YouTube URL】 <https://www.youtube.com/c/keizailabo>

【番組 HP】 <https://www.keizai-labo.com/>

【Twitter】 [https://twitter.com/keizai\\_labo](https://twitter.com/keizai_labo)

【Instagram】 [https://www.instagram.com/keizai\\_labo/](https://www.instagram.com/keizai_labo/)

【運営会社】 日本経済新聞社・テレビ東京コミュニケーションズ

本件に対する問い合わせ  
テレビ東京コミュニケーションズ広報担当 pr@tx-bb.com